

令和5年度 課題を抱える青少年を支援する体験活動事業「生活・自立支援キャンプ」
曾爾わくわくキャンプ

- [主 催] 国立曾爾青少年自然の家
- [期 日] 令和5年8月27日(日)～28日(月)
- [対 象 者] 児童養護施設に入所する子ども
- [参 加] 18名(うち施設職員5名)
- [担 当] 福島茂樹(企画指導専門職)
松元延行(主幹兼事業推進係長)



1 目的(趣旨)

曾爾の豊かな自然の中で、川遊びや野外炊事など、普段できない様々な体験やプログラムを楽しみ、夏休みの思い出作りをする。

3 プログラム展開

8/27 (日)			10:00	11:00～16:30	17:00～ 17:50	18:00～ 18:40	19:30～21:00	21:00	21:30
			受付 開会式	川遊び、たき火 レクリエーション等	夕食	入浴	わくわくタイム	就寝準備	就寝
8/28 (月)	6:30	7:00	7:30～ 8:00	8:30～13:00	13:00～14:30	14:45			
	起床 ／清掃	朝の つどい	朝食	野外炊事	レクリエーション	閉会式			

4 活動の様子



5 まとめ(ねらいに対する参加者の感想、ねらいに対するアンケート結果 ※数値)

- ・ 川で魚のえさをとりに行くところからするのがいいなと思った。つりのはりにいもむしやえびをつけたのがよかった。
- ・ ふつうは学校とかで火遊びをできないから、これが心にのこりました。
- ・ 火遊びが楽しくて、けむたい時もあったけど、おもしろかった。

令和5年度 課題を抱える青少年を支援する体験活動事業「生活・自立支援キャンプ」
曾爾どきどきキャンプ

- [主 催] 国立曾爾青少年自然の家
- [期 日] 令和5年10月28日(土)～29日(日)
- [対 象 者] 児童養護施設に入所する子ども
- [参 加] 40名(うち施設職員11名)
- [担 当] 三木智拓・福島茂樹(企画指導専門職)
池田武弘(事業推進係員)



1 目的(趣旨)

ゆったりとした時間の中で、自由に心を解き放つとともに、散策や野外炊事など、体験活動やプログラムを通して、チャレンジしようとする素地を養う。

2 プログラム展開

10/28 (土)		11:00	11:30～16:00	17:00	17:45	19:00～20:30	20:30	21:30
		受付 開会式	昼食、選択プログラム(ハイキング、草原 散歩、森遊び、焚き火、アスレチック)	夕食	入浴	ナイトハイク 焚き火・焼き芋	就寝準備	就寝
10/29 (日)	6:30	8:00～8:40	9:00～13:00	13:00	13:30			
	起床	朝食(カートンドッグ作り)	野外炊事	ふりかえり	閉会式			

3 活動の様子



5 まとめ(参加者、引率者の感想より)

- ・ 夜の散歩とすすき散歩と焚き火が楽しかった。焼き芋やちゃんこ鍋など、作り方を教えて頂きありがとうございました。とても楽しかったです。
- ・ 本当に楽しそうに林の中を駆け回っている子供たちの姿が心に残りました。普段これだけ思い切り自由にさせてあげられることもないなと思いました。大きい子が小さい子の面倒を見ている姿もいいなと思いました。
- ・ 子供のチャレンジする力が身に付いていた。
- ・ 焚き火の経験は本当に良かったと思う。大阪ではできないことを体験でき、いつまでも飽きずずっとやっていたのは、それだけ楽しかったのだろうと感じた。帰ってきてからも自然のきれいさや壮大さに感動したようで、参加できなかった職員に伝えていた。